

議会 だより



こがし
古河市

第 **62** 号

令和2年3月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



甦れ！古河城御三階櫓（渡良瀬川河川敷）

令和元年 第4回定例会 開催

第4回定例会は12月3日から13日までの会期11日間で開かれ、諮問2件、報告10件、議案63件について審議しました。一般質問は12月10日から12日の3日間行われ12名の議員が登壇しました。請願1件については、4ページの請願結果のとおりとなりました。

令和元年第4回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第7号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	1.12.3	同意
諮問第8号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	1.12.3	同意
議案第91号	古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	1.12.3	同意
議案第92号	古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	1.12.3	同意
議案第93号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	1.12.13	原案可決
議案第94号	古河市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第95号	古河市職員の分限に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第96号	古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第97号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第98号	古河市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第99号	古河市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	1.12.13	原案可決
議案第100号	古河市職員の旅費に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第101号	古河市仁連地区新産業用地開発事業用地処分基金条例の制定について	1.12.13	原案可決
議案第102号	古河庁舎併設市民集会施設設置及び管理に関する条例等の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第103号	古河市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第104号	古河市自転車等の放置防止条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第105号	古河市自転車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第106号	古河市自動車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第107号	古河市隣保館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第108号	古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第109号	古河市民農園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第110号	古河市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第111号	古河市働く女性の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

令和元年第4回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第112号	古河市まちのお休み処設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第113号	古河市道の駅地域振興施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第114号	古河市三和ふるさとの森条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第115号	古河市ネーブルパーク条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第116号	古河市生涯学習センター総和の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第117号	古河市公民館利用条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第118号	古河市立博物館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第119号	古河市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第120号	古河市交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第121号	古河市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第122号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第123号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第124号	古河市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第125号	古河市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第126号	古河市三和農村環境改善センターの設置及び管理等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第127号	古河市古河体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第128号	古河市古河市民球場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第129号	古河市三和野球場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第130号	古河市サッカー場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第131号	古河市テニスコートの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第132号	古河市三和健康ふれあいスポーツセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

令和元年第4回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第133号	古河市立学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第134号	古河都市計画事業古河駅東部土地区画整理事業施行に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第135号	古河市都市公園条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第136号	古河市下水道条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第137号	古河市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	1.12.13	原案可決
議案第138号	古河市ユースセンター総和の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第139号	古河市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	1.12.13	原案可決
議案第140号	古河市三和健康ふれあいスポーツセンター、古河市三和野球場及び古河市三和農村環境改善センターの指定管理者の指定について	1.12.13	原案可決
議案第141号	古河ゴルフリンクス、古河リバーサイド倶楽部及びリバーフィールド古河の指定管理者の指定について	1.12.13	原案可決
議案第142号	字の区域の変更について	1.12.13	原案可決
議案第143号	和解及び損害賠償の額の決定について	1.12.13	原案可決
議案第144号	令和元年度古河市一般会計補正予算(第4号)	1.12.13	原案可決
議案第145号	令和元年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決
議案第146号	令和元年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決
議案第147号	令和元年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	1.12.13	原案可決
議案第148号	令和元年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決
議案第149号	令和元年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	1.12.13	原案可決
議案第150号	令和元年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決
議案第151号	令和元年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決
議案第152号	令和元年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計補正予算(第1号)	1.12.13	原案可決
議案第153号	令和元年度古河市水道事業会計補正予算(第2号)	1.12.13	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願結果

番号	件名	提出者	審議結果
令和元年 請願第7号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める請願	古河市9条の会 代表世話人 奈良 達雄 他 2名	継続審査

賛否の分かれた議案

○賛成、×反対

議案番号	政友会					古河市 公明党				真政会				市民ベースの会					無会派				
	鈴木 隆	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷博之	渡邊 澄夫	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	渡辺 松男	黒川 輝男	赤坂 育男	青木 和夫	稲葉 貴大	園部 増治	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美
議案第 93 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 95 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 96 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 97 号	×			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 98 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 99 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 100 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 102 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 103 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 104 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 105 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 106 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 107 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 108 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 109 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 110 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 111 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 112 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 113 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 114 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 115 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 116 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 117 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 118 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 119 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 120 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 124 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 126 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 127 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 128 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 129 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 130 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 131 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 132 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 133 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 135 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 138 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×
議案第 145 号	○			○				○				○		-				○			○	○	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

第4回定例会 一般質問

12名の議員が市政を問う



鶴見 久美子 議員

フレイル健診について

問 フレイルとは、加齢とともに心身の活力、運動機能や認知機能等の低下など、生活機能が障害されることであり、高齢者が発症しやすい。早く気づき正しい治療や予防を行うことにより、健康寿命の延伸にもつながる。国では来年度からの導入が決まったが、市としての実施と課題について伺う。

答（生活安全部長） 県後期高齢者医療広域連合では、令和6年度までに県内全市町村での実施を目指しており、実施には地域の健康課題の抽出や事業計画策定等の課題がある。市でも関係部署と連携を図り、より早い段階での事業実施を目指したい。



成人用肺炎球菌ワクチン接種事業について

問 高齢者の死亡率が高い肺炎予防として、65歳から5歳刻み

の各年齢になる方が、生涯に1回だけ活用できる制度によるワクチン接種が有効である。接種率向上のための対策、未接種を防ぐための個別通知による再勧奨の所見を伺う。

答（健康福祉部長） 65歳から100歳までの5歳刻みで、任意も含め、一度も接種していない方に4月初めに個別通知を行い、広報紙等で周知している。未接種者には個別通知での再勧奨は行っていないが、広報等で案内している。未接種者の再通知は有効な取り組みであるが、国の制度は一度も接種していない方が対象のため、今後通知の対象者や時期、内容を検討する必要がある。



高橋 秀彰 議員

災害廃棄物処理計画の策定について

問 地震や豪雨等の大規模自然災害に備え、災害で予想される廃棄物の発生や分別方法および仮置き場の位置、また、近隣自治体等との連携や支援体制などを決めておく「災害廃棄物処理計画」の策定は、市民生活の安心・安全につながる必要不可欠な準備であり、今後、迅速な策定が必要と考えるがどうか。

答（生活安全部長） 災害廃棄物処理計画の策定は、実際の災害廃棄物の見込み、それに対応できる仮置き場の規模の把握等課題がある。現在、国の災害廃棄物処理計画策定モデル業務において、茨城県内のモデル自治体として参加し、他自治体と意見交換等行いながら、今年度末の策定に向け作業を進めている。

キッズゾーンの設定について

問 園児ら未就学児が、安心して園外活動、散歩等ができる環境整備が必要である。日常的に集団で移動する移動経路の安全確保に向け、「キッズゾーン」の整備や園外活動等を見守る「キッズガード」の配置等が必要と考える

がどうか。

答（健康福祉部長） キッズゾーンの整備は、交通規則や路面舗装、ガードレールの設置等、市内の該当施設の意向を確認の上、行政区や自治会、警察などの関係機関と協議、調整を行い、市の地域実情に合った適正な設定を検討していきたい。キッズガードの配置強化には、保育補助者雇上強化事業の普及がその一助になるものと考えている。



キッズゾーン



佐藤 稔 議員

「クレバーメディア」の導入について

問 災害時の市民への情報伝達は、防災行政無線をはじめ、広報車・緊急メールなどによって行われているが、重要な点は古河地区、総和地区、三和地区の各地域にマッチした情報を、より多くの市民に同時に伝達することである。この課題を解決するためには、比較的設置費用のかからないインターネットラジオ局からの情報を、各個人のスマートフォンへ直接音声と文書

により伝達する方法が効果的である。スマートフォンを持たない市民にも個別のラジオ端末を設置することで対応ができる、「クレバーメディア」の導入について所見を伺う。



WEB ラジオ局からの情報の一例

答（企画政策部長） クレバーメディアはスマートフォンなどを持っている方だけでなく、そうでない方も専用の端末機を用い

ることで、行政情報発信の有効な手段としての可能性を備えたツールである。実施に向けた課題として、パソコンの立ち上げは簡単だが、ラジオ局であることから市の職員ではなく、専門のスタッフによる運営が必要になることがある。また、スタジオ等の設置、開局後の番組編成や維持コストなどの課題もあるため、今後も調査、研究を行っていききたい。

答（生活安全部長） クレバーメディアの専用端末はスマートフォンを持たない方に情報を伝える手段の一つとなるが、現在は開発段階で、運用には至っていないと聞いている。古河市にとって有効なツールであるか費用対効果を含め、調査、研究をしていきたい。



小森谷 博之 議員

道路の冠水問題について

問 さまざまな部署で雨水対策をしていると思うが、包括的に進める部署をつくることにより、雨水管理総合計画等の策定が早急に進み、まちの安心、安全につながると考えるが、市の考えを伺う。

答（市長） 近年の集中豪雨等を鑑み、昨年度の組織機構改編で下水道整備課に対策係を新設したが、現在、市の公共下水道に

おける雨水対策の在り方の方向性とスケジュールを計画している。組織の見直しについては、雨水対策計画の内容を確認の上、検討していきたい。

指定避難所について

問 台風19号では避難に対する問題や不安が多くあり、水害だけでなく、さまざまな災害時に市民の皆さまに安心、安全を届けることができていると考える。想定でき得る対策を市民の皆さまと考え、行動することにより「華のある都市（まち）古河」の実現に近づくと考えるが市の考えを伺う。

答（市長） 台風19号の避難所運営については、市民の方や施設

管理者、市職員等から意見を聴取し、避難の考え方の見直しを進めている。直ちに公的施設などの避難所を増加するのは不可能であり、民間施設等も含め、避難所拡大の努力は続けるが、避難は洪水浸水想定区域外の知人宅など、安全な地域を目指すことが第一である。避難先は市民一人一人が考えることが重要であり、避難所は選択肢の一つに過ぎないという考え方を市でも取り入れていく必要がある。逃げ遅れゼロを今後目指していきたい。





鈴木 務 議員

“いじめ”について

問 いじめは年々増加傾向にあり社会問題となっている。いじめを受けた児童生徒は心身の健全な成長および人格形成への影響のみならず、その生命または身体に危険を生じる恐れがある。いじめは重大な人権侵害であり絶対にあってはならない。全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることが望まれる。いじめに対する①市内小中学校の状況②いじめ解消、防止対策、重大

事態対応、さらに、新たな情報化社会の問題となっているSNSの対応策等について伺う。



答（教育長） 昨年度の市内児童生徒のいじめ認知件数は小学校2,473件、中学校363件であり、今年9月末の調査では全て解消に至っている。いじめ防止対策については、いじめ防止基本方針の作成やいじめ問題対策連絡協議会で有識者からアドバイスを受けている。重大事態対策については、ガイドライン等を基に研修や指導を行っている。

SNS等の問題については、各学校で外部講師を招き、情報モラル教育を実施している。

古河はなももマラソンについて

問 中高生の参加費について、中学生対抗駅伝競走および仮装競技大会提案について伺う。

答（教育部長） 10キロメートルの部の高校生の参加費は一般と同額となっているが、市外では一般より安くしている大会があることや高校生の参加が少ない状況から、次回から参加費値下げの方向で協議を進めたい。中学生対抗駅伝は大会時期が学校の繁忙時期等により実施されていない。仮装競走は、フルマラソンとは別に導入検討したい。



阿久津 佳子 議員

古河市の地域防災・減災計画について

問 台風19号では古河市民約10万人に避難指示レベル4が発令された。避難方法や避難所の在り方等において多くの課題が浮き彫りになった。「誰も取り残さないインクルーシブ防災」を実践するため、①正常性バイアス、同調性バイアス（自分は大丈夫、周りが避難しないから大丈夫）を打破し、熟慮かつ直感による判断力を養うために、利根川、渡良瀬川、思川の越水や決壊を

想定したシミュレーション映像等による視覚的体験がバイアスを弱める一助になると考えるがいかがか。②古河市福祉避難所基本計画にある基本施策実施の進捗状況について伺う。

答（市長） ①シミュレーション映像や画像による啓発は、ハザードマップとは違い、視覚的にインパクトがあり、災害を現実のものと感じる効果があると思われる。利根川上流河川事務所は河川情報や映像等の資料を多く持っていると思うので新しい啓発教材の作成ができるよう働きかけていきたい。

答（健康福祉部長） ②基本施策実施の進捗状況について、福祉避難所や福祉スペースは、全ての指定避難所に併設目標があり、

確保に向け、施設管理者と協議、工夫を重ねていく。福祉避難所のバリアフリー化については、数種類の簡易スロープを購入した。高次民間福祉避難所は、市内特別養護老人ホーム9カ所と協定を締結し1病院9施設となった。福祉避難所の追加指定、民間宿泊施設等との連携については、協定締結に向けて準備を進めていく。要配慮者を移送するための方策については、さまざまな可能性を模索しながら引き続き検討していく。

（※）



台風19号 真夜中の緊急避難！

※提供：利根川上流河川事務所



生沼 繁 議員

災害時の避難所問題と課題について

問 ①台風19号では多くの地域に避難指示が発令され、指定避難所に行ったが、既に収容人員を超えており、他の避難所に向かうことになった。また、避難解除がされない中、利根川の水位が下降したため安全との自己判断で、多くの避難者が帰宅してしまった。これらの周知と情報伝達について問う。

②はなもも体育館へは3方向からの進入路があるが、道路が

冠水し通行止めになる。調整池の整備計画や地理に詳しくない避難者のために付近の信号機に名称を入れ、解りやすく見やすい迂回路の案内板を設置し、安全な進入路を確保するなど、今後の冠水対策について問う。



避難所（上辺見小学校体育館）

答（市長） ①災害時の円滑な情報伝達のため庁内マニュアル整備を行う。市民には出前講座等により平常時から災害時の知識や備えの啓発に努め、情報を最

大限有効活用できるようにしたい。②冠水対策については、下水道事業での対策だけでなく、市民が安全に避難できる道路整備も推進していく。

答（生活安全部長） ①避難所の混雑状況等の情報提供や可能な人への広域避難の啓発に努めたい。また、避難所の閉鎖については運営マニュアルの見直しに取り組んでいきたい。②交差点信号機への地名板設置は、災害時に有効であるため警察署と協議を行っていく。

答（上下水道部長） ②調整池を含めた雨水貯留施設の設置等を検討している。また、国事業の积水水門工事に関する女沼川の工事完了により体育館周辺道路の冠水は改善が見られると考える。



落合 康之 議員

古河駅東部土地区画整理事業「商業用大街区」について

問 当該事業は、本来であれば令和元年8月に相手方と基本協定を締結し、地権者説明会を経て、令和3年度末には申込者からの保留地買い受け申し込み手続きが終わり順調に進捗するものとうれしく思っていたが、審査結果として「内定者なし」という非常に残念な報告をいただくこととなった。

全員協議会では再募集をかけるという事であったが、今現在

の当該再募集計画の進捗状況はどうなっているのか。

答（副市長） 募集条件の検証を行うために、問い合わせのあった20事業者にアンケートを実施し、15事業者から回答を得た。個別ヒアリングでは、土壌に関する詳細な状況がないと具体的な事業計画が立てられない旨の意見が多かった。再募集を行うには、事業者が望む情報の提供が必要だと考えている。再募集の時期については、詳細が決まり次第、説明していきたい。

（再質問） 当初の計画通り令和3年度末までに、保留地買い受け申し込み手続きが終わるよう話を進めていただきたい。その点をしっかりと認識して事業を

進めていただきたい。

答（副市長） 追加の環境調査等が発生すると相応の時間を要することもご理解いただきたい。いずれにしても、各要因を分析し、早い時期に再募集を実施できるように取り組んでいく。



期待されるショッピングモール

＜その他の質問＞

- ・さしま環境管理事務組合への回答について
- ・災害時の対応について



長浜 音一 議員

都市計画を問う

問 ①都市計画および都市計画道路の取り組みについて②(仮)南古河駅は駅舎以前に周辺インフラや幹線道路の整備(国道354号や筑西幹線道路延伸等)と古河駅周辺の活性化策の検討が先決だが見解について③古河駅東部土地区画整理事業の文化交流拠点とした同地域を非公開で公募型総合評価方式による業者選定を行い、内定者なしであったが再公募について伺う。

答(企画政策部長) ②まちづくりの推進は新駅利用者の増加を喚起するものであり、市民との合意形成を図りながら駅舎建設と区画整理事業等による周辺のみまちづくりの歩調を合わせ進めていくことが重要である。

答(都市建設部長) ①中長期的な視点での都市の将来像である都市計画マスタープランに沿って市が定める個別の都市計画の決定や変更を行う。昭和13年に計画され未実施の都市計画道路もあり、よりよい道路網になるよう来年度から見直しを検討していく。③公募内容の検証や業者への聞き取り等を行い、不成立の要因であった安全性を市が確保して再公募できるよう準備を進めている。

学校教育を問う

問 学校のICT教育の環境整備には、ハード面整備とともに校内の協力体制や学校外からの支援体制の構築が必要である。組織的・人的なサポート体制づくりが課題だが、今後の対応は。

答(教育長) 校内の協力体制の実現・具現化、地域や民間とのサポート体制の構築については実際に活用している例もあり、関係者と協議・検討をしながら前向きに考えたい。



地域ボランティアによるICT教室

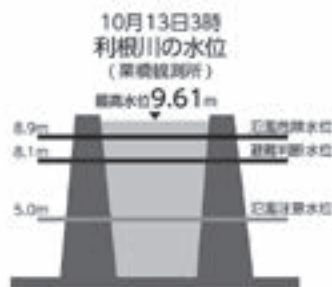


秋庭 繁 議員

市の防災計画、台風19号の避難指示、危機管理について

問 台風19号による災害対応を今後どう生かすかが問われている。①市の台風情報に基づく判断対応の問題点と教訓について②市民に対する連絡の在り方、障がい者、独居老人への対応、避難所の数や運営について伺う。また、国は2年前、洪水想定を従来の百年から千年に1度に変えるよう義務づけている。③新しいハザードマップはどこが変わり、いつ配布されるのか。

針谷市長の危機管理について、市長は、タイへ旅行しているが、情報公開に依拠していない。④目的や費用について⑤海外渡航時に古河市では職務代理を置かない理由について伺う。



想定を超えた利根川の水位

答(市長) ④費用は自費であり、自身の研究、研修を深めるためである。⑤職務代理者の設置基準があり、意思決定や職員の指揮監督が困難なときに限り、職務代理者を置くことになってい

る。通信がグローバルになり、電話やメールが可能のため、職務代理者を置いていない。

答(生活安全部長) ①情報に基づく判断、問題点と総括については、現在検証作業を進めている。②市民に対して、防災行政無線や消防団による広報活動など多様な手段で情報伝達に努めた。障がい者、独居老人等への対応については避難所における福祉避難スペースの確保などが課題となった。避難所は市内全32カ所を開設し、備蓄品や運営職員の不足などの意見が多く出た。③防災啓発のためのガイドブックやマイタイムラインが作成できる仕組みを設けるなど、市民の避難行動に役立つものになりたいと考えており、4月に全戸配布予定である。



小山 高正 議員

災害対策について

問 ①指定避難所である小中学校の設備等は適切であったか
②災害が発生した場合、避難所のグラウンドはどう使用するか③避難所グラウンドは水はけのよさが必要と考えるがどうか。

答（生活安全部長） ①設備は避難所としての利用を想定したものとへと転換するまでには至っていない。②主に避難者の駐車場であったが、長期避難となると

仮設テントの設置等さまざまな目的での使用が想定される。③避難所としての機能を考慮すると水はけがよいことが望まれる。



障がい福祉について

問 ①8050問題についてどのようなビジョンを持っているか
②この問題に必要な施設は現状足りているのか③兄弟間による日常の介護・介助によって、介護離職が発生した場合の支援策はあるのか。

公共の福祉について

問 商業施設等の優先駐車場の目的外利用者に対策はあるか

答（産業部長） 各商業施設での管理であり、把握していない。

《その他の質問》

・住民問題について



古川 一美 議員

車安全装置の補助金について

問 高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いとみられる事故が全国で多発している。①免許の自主返納を勧める以外に高齢ドライバーの安全についてどのような対策を考えているか②急発進を防ぐ安全装置を後づけした際の補助は考えているか。

答（生活安全部長） ①交通安全街頭キャンペーンをはじめ、高齢者世帯訪問、交通安全教室等

さまざまな機会で、警察署と連携をとりながら高齢運転者・歩行者に対し啓発活動に努めている。②国の状況や実施市町等の事業効果を踏まえ検討したい。



教科書採択について

問 教科書は子どもの考え方、人間形成に大きな影響を与える。特に歴史教科書は出版社により内容や表現に大きな違いがある。自虐史観からの脱却、日本人と

しての誇りを取り戻し、愛国心を育む歴史教育が重要と考える。
①教科書採択の手順②採択基準、結果等の公表③中学校歴史教科書採択の考え方について伺う。

答（教育長） ①古河市は県の第11採択地区協議会に属している。協議会は教科書の調査研究を行う調査部会からの報告をもとに、慎重に協議し選定している。その結果を受け、市教育委員会を開催、教科書を採択している。②地区による共同採択であり、事務局に全ての記録を集約しているため、情報公開請求により閲覧できるが、市単独の公表は難しい。③ほかの教科と同様に協議会の選定結果に基づいて市教育委員会で協議、採択している。

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

当会派は、11月に会派勉強会および会派主催の研修会を開催しました。

11月11日、午前中に教育行政や待機児童、子育て支援、ごみ処理行政等について市執行部の説明を受けながら会派勉強会を行い、午後からの研修会では一般社団法人アイネット理事長の浅沼秀司氏を講師に招き、「引きこもり支援について」というテーマで講演をいただきました。当日は多くの議員や市役所職員、社会福祉協議会職員の参加のもと、引きこもり、不登校、ニート等、若者の諸問題に対する課

題や取り組みについて貴重なお話を伺い、質疑応答では活発な意見交換が行われ、大いに実りある研修となりました。

11月21日には株式会社ツクバ・インフォメーション・ラボ代表取締役の佐山剛勇氏を講師に招き、「まちの個性を強みに変える～シティプロモーション戦略～」をテーマに講演をいただきました。少子高齢、地方創生時代にあつて、地域間競争が激しさを増している昨今、地域の特色を生かし、まちの魅力を広く発信するプロモーション活動が非常に重要となってきました。研修会を通して、古河市の個性を強みに変えるさまざまなヒントを得ることができました。

政友会では今後も議員・会派として政策提言を行えるよう、積極的に研修会・勉強会を開催し、市民の皆さまの要望に応えるべく日々邁進してまいります。(なお、鈴木隆議員の議案第97号の採決の真意は賛成です。)



会派勉強会の様子

鈴木 隆 佐藤 泉
大島 信夫 鈴木 務
小森谷博之 渡邊 澄夫

古河市公明党

古河市公明党は昨年8月、災害時の情報伝達手段として開発された「クレバーメディア」についての勉強会を開催しました。このメディアは、私たちが普段使っているスマートフォンに、市からの音声と文書を一斉配信できるインターネットラジオを活用したものです。平常時はコミュニティラジオとして活用し、災害時には市民のスマートフォンアプリを強制起動させ、音声と文書で災害情報を伝えます。また、スマートフォンを持っていない市民には、防災ラジオと同様の機能を持った、インター

ネットラジオ端末を設置することで、同じ内容を伝えることができます。今後、有効性などを検証しながら、実用に向けて研究してまいります。



会派の勉強会

また、11月には86項目の「2020年度予算要望書」を、針谷市長に提出しました。この要望書は、新年度予算の編成にあたり、予算への組み入れを希望する新規事業や、現在取り組んでいる事

業のさらなる充実を目指し「予算要望書」として提出するものです。市民生活のさらなる向上を目指し、日常の議員活動の中で市民の皆さまからいただいたご意見やご要望を形にすることを目的としています。

古河市公明党は今後も、住み良い街づくりを目指し全力で取り組んでまいります。



予算要望書の提出

～ 会派の活動を報告します ～

真政会

真政会は、11月7・8日に鹿児島県霧島市で「防災とコミュニティ」をテーマに開催された第81回全国都市問題会議に参加した。基調講演は志學館大学原口泉教授の「鹿児島島の歴史から学ぶ防災の知恵」、中重真一霧島市長の「霧島の防災の取り組み・火山防災」、尚絅学院大学田中重好教授の「災害とコミュニティ・地域から地域防災力強化への答えを出すために」、松井一寛広島市長より「平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取り組みについて」の報告があった。世界的にみて日本は災害が多

い国であることは国民が認識している。ここ数年日本各地で大規模な自然災害が発生しており、南海トラフ巨大地震や地球温暖化による気候変動が大きな影響を与える気象災害など、今後も大きな自然災害の発生が懸念されている。そうした中で、人々の災害、防災への関心は非常に高まっている。特に東日本大震災のような大規模災害や近年の幾多の気象災害の経験を通じ、「公助」の限界が認識される一方、防災の原点として住民一人一人による「自助」、地域コミュニティによる「共助」が再評価されている。折しも10月12・13日に当地を襲った台風19号で警戒レベル4避難指示を経験したば

かりであり、その際問題となった市民への伝達方法、避難場所、避難経路等は今後対応すべき大きな課題となった。

今回の台風による教訓や関東・東北豪雨で経験した雨水対策等は、いつ起こるか分からない自然災害に備えて対処しなければならない喫緊の課題である。真政会は市民の安心安全確保のために防災意識の高揚と諸問題解決のために全力で取り組む。



市民ベースの会

当会派では、市民の皆さんと協働を基本に活動しています。

◆先進地視察

7月12日に県内2例目として開所した東海村病児病後児保育施設「るぴなす」（村立東海村病院敷地内併設）を視察しました。古河市子育て支援拠点整備の一つに病児・病後児保育機能があります。0～12歳児の共働き家庭への支援として保護者のニーズを形にした病児・病後児対応型、体調不良児対応型の本施設を視察し、多様化する子育て支援の中で古河市における課題抽出ができました。古河市では公

営することによる事業の安定確保を底辺におき「古河市子育て拠点施設西側における施設導入基本計画」を進めていただきたい旨の提言をいたしました。

◆議会活動

当会派は特定党派ではなく、多様な考え方を持つ議員で構成されており、日々「市民の皆さんにとって何が本当に大切なことか、次世代へつなぐ夢がもてる古河市のあるべき姿をつくり上げること」を根底に、一つ一つの議案、請願、陳情の採択と一般質問を行っています。

◆議員個々の活動

地域のつながりを強固にし、災害時にも対応できるよう、各地区コミュニティへの積極的な

参加、ボランティアサークル活動や地域の防犯活動等でそれぞれの議員が活躍しています。

これからも「市民の皆さんがベース（基本）」「市民の皆さんのニーズを形にする」「市民の皆さんと共に協働する」「産官学民連携も取り入れ、古河市を取り巻く社会情勢に立ち向かう」を基本に、行政だけでは実現が難しい事業の企画提案を実施し、市民協働を実践してまいります。



議場コンサートの出演者を募集しています

市議会では身近で開かれた議会を目指し、議場コンサートを開催しています。日ごろの練習の成果を議場で発表してみませんか。

- 公演日（予定）
3月・6月・9月・12月定例会のいずれかの会議前。
1組 20分程度。
- 応募資格
原則、市内在住・在勤の音楽を愛好している歌唱・楽器の演奏ができる人または団体。
ただし、本会議場で演奏等が可能なもの、出演に要する経費はすべて出演者の負担になります。

※応募方法など詳細については、市ホームページもしくは議会事務局までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか！

市議会はどなたでも傍聴することができます。

- 傍聴の手続き
当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。
本会議場の定員は62名（うち車いす席2名）です。
- 傍聴場所
古河市役所古河庁舎3階

第4回定例会の傍聴者数

本会議	36人
委員会	2人
議場コンサート	14人
合計	52人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 令和2年 第1回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
3月 3日 (火)	本会議	開会、議案の説明
3月 4日 (水)	休 会	議案調査
3月 5日 (木)	本会議	質疑、議案の委員会付託
3月 6日 (金)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
3月 9日 (月)	常任委員会	文教厚生常任委員会
3月10日 (火)	特別委員会	予算特別委員会
3月11日 (水)	特別委員会	予算特別委員会
3月12日 (木)	休 会	議事整理
3月13日 (金)	特別委員会	予算特別委員会
3月16日 (月)	本会議	議場コンサート、各会派代表質問
3月17日 (火)	本会議	一般質問
3月18日 (水)	本会議	一般質問
3月19日 (木)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 時間は午前10時からの開催予定です。（最終日は午後1時30分）
- 産業建設常任委員会は午前10時15分から開催予定です。
- ※変更される場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会 中継 検索

QRコード



🌸🌸🌸 編集後記 🌸🌸🌸

令和元年第4回定例会の一般質問は12名の議員が登壇し、台風19号の避難に関する質問が多く行われました。

また一般質問初日の本会議前には、恒例の議場コンサートが行われました。市民の皆さま、ぜひ、議会傍聴にお越しください。

今号は市民にわかりやすい議会を目指し、会派の活動報告を掲載しました。本年もより一層身近な議会広報となるよう努めてまいります。
委員長 鈴木 務

【議会だより編集委員会】

委員長 鈴木 務
副委員長 阿久津佳子
委員 小森谷博之 稲葉 貴大
高橋 秀彰 生沼 繁

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎ 0280-22-5111 (代)